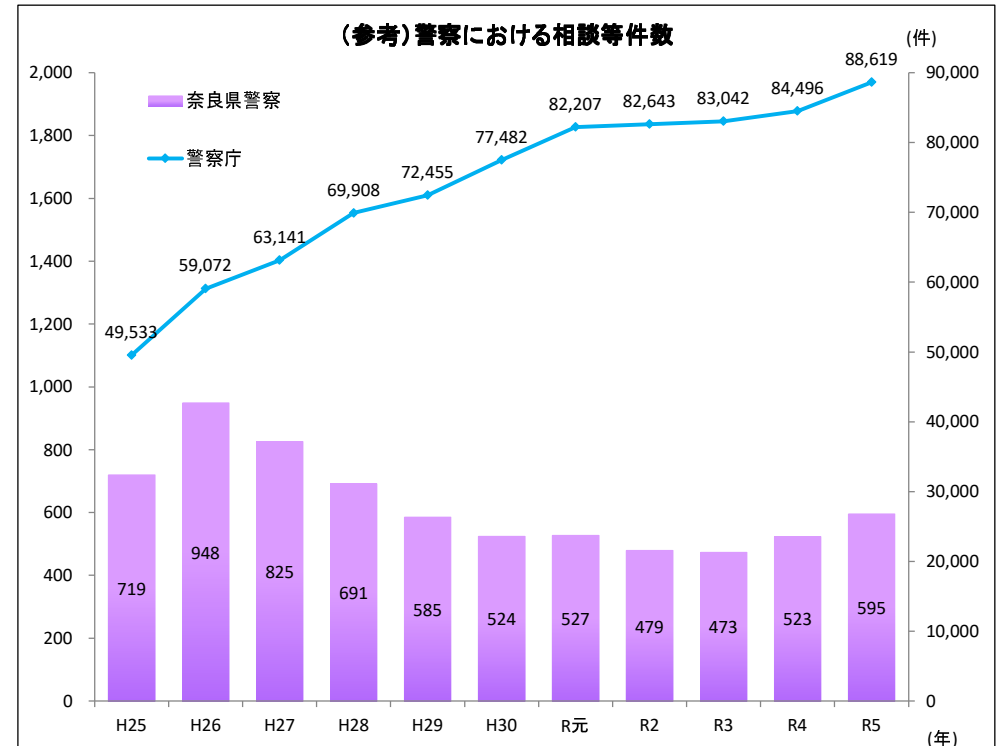
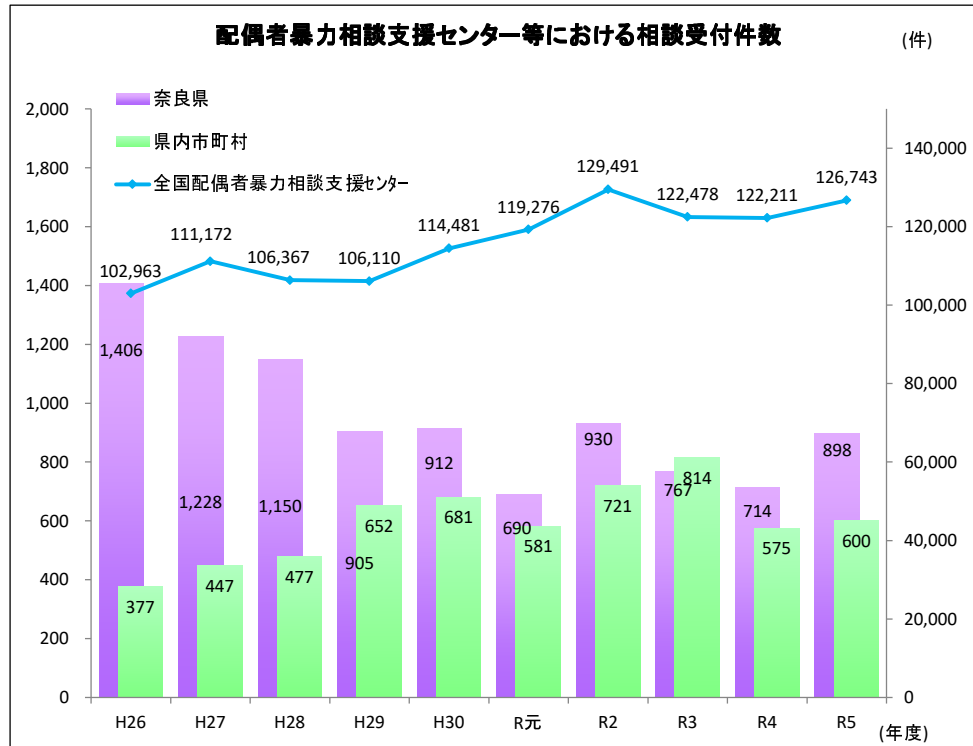


令和5年度奈良県のDV相談の状況

資料1



- ・奈良県における令和5年度の相談受付件数は、898件であり、前年度に比べ、184件（25.8％）増加した。

※奈良県数値は、中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計。

※全国配偶者暴力相談支援センターの相談受付件数については、R2年度より開始されたメール・SNS等を活用した「DV相談プラス」での相談件数（※）を除く。

（※）（参考）R2：52,697件、R3：54,489件、R4：47,971件
R5：44,972件

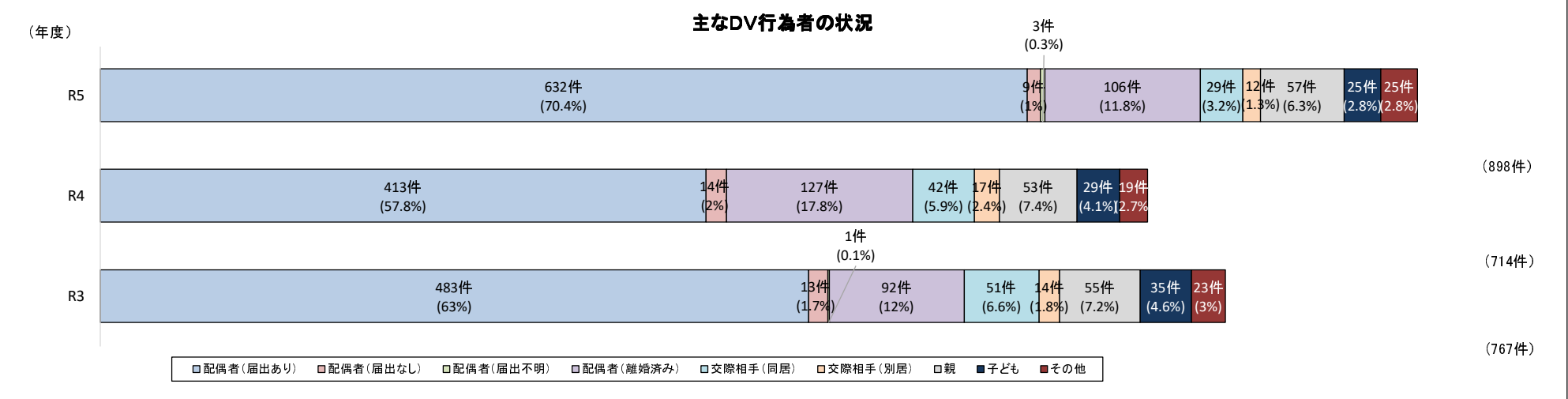
参考添付：警察における相談等件数

- ・奈良県警察における令和5年の相談等件数は、595件であり、前年に比べ、72件（13.8％）増加した。

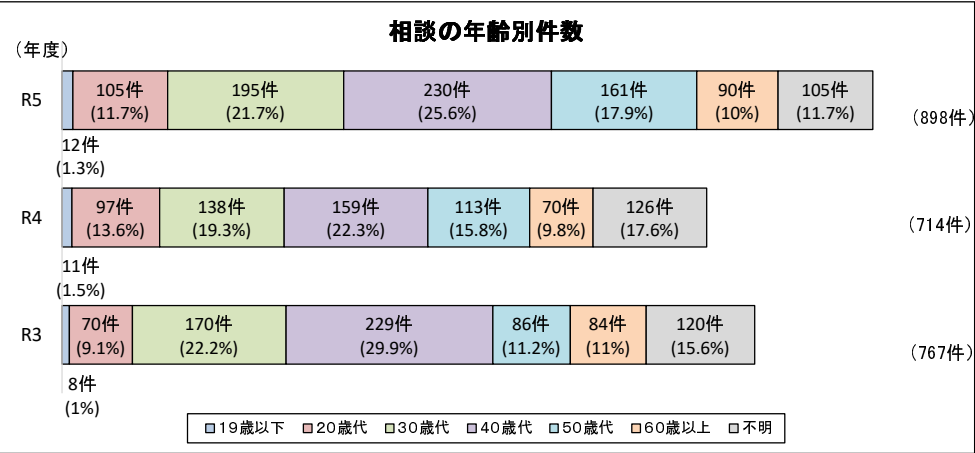
- ・警察庁（全国警察相談等件数の合計）における令和5年の相談等件数は、88,619件であり、前年に比べ、4,123件（4.9％）増加した。

※警察における相談等件数は、当該年の1月～12月における相談等件数の合計。

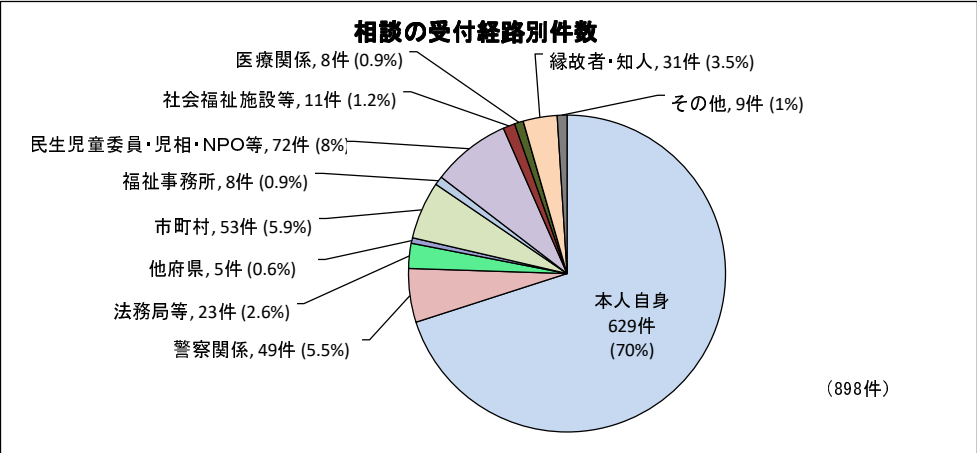
○奈良県が受付したDV相談件数の状況



- ・奈良県における令和5年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者(婚姻届出あり)」が632件(70.4%)で最も多く、次いで「配偶者(離婚済み)」が106件(11.8%)であり、次いで「親」が57件(6.3%)。
- ・前年度と比較すると、「配偶者(婚姻届出あり)」が219件増加し、「配偶者(離婚済み)」が21件減少した。



- ・奈良県における令和5年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が230件(25.6%)で最も多く、次いで「30歳代」が195件(21.7%)と合計で約5割を占めるが、すべての年代からの相談がある。
- ・前年度と比較すると、「40歳代」が71件増加、「不明」が21件減少した。



- ・奈良県における令和5年度の相談者の受付経路は「本人自身」が629件(70.0%)で最も多く、次いで「民生児童委員・児相・NPO等」が72件(8.0%)。